

令和4年度 学校園評価(関係者評価)シート

学校園名 | 加古川市立しかたこども園

1 教育・保育目標 「心豊かに感じ、自分らしさを発揮し、生き生きと遊ぶ子ども」

2 基本方針

○集団生活の中で、一人一人が自分らしさを輝かせ、生き生きと遊べる環境をつくる。
○子ども達の発達や学びと生活の連続性を考慮し、一人一人が自分の思いや考えをもって、主体的に生活できるようにする。

3 指導目標

○生活リズムを整え、健康な心と体を育む。 ○人と関わる喜びを感じ、愛情や信頼感を育む。
○身近な自然や環境に親しみ、科学性の芽生えを育む。 ○よく見、よく聴き、よく考えて、自分の思いを表現する力を育む。
○ねばり強く、自らやろうとする意欲や態度を育む。

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
生活リズムを整え、健康な心と体を育む	<p>○コロナ禍の健康な過ごし方について意識付けしたり、安全に生活できるよう環境を整えたか。</p> <p>○自分から進んであいさつをする。</p> <p>○様々な体を使った遊びを経験し、十分に身体を動かして遊ぶ。</p> <p>○安全に生活するための集団生活のルールや約束を知り、守ろうとする。</p>	B	<p>・手洗いやうがい、手指消毒などのコロナ禍での習慣が身に付き、健康に気を付けようとする意識が育ってきている。また、保育教諭や他職種の職員皆で、衛生的で安全な環境づくりに取り組んだ。</p> <p>・ユニットで取り組んでいるあいさつ運動では、5歳児が朝に門に立って行った。年齢の低い園児にも自分からあいさつをする子も増えているが、今後も継続していきたい。</p> <p>・集団生活の中で、互いに気持ち良く過ごすための約束事をクラスタイムで知らせたり、生活の中で、その都度話し合う機会を設けたりすることで、ルールを守ろうとするようになってきている。</p>

自己評価の適切さ (関係者評価)	達成状況
<p>・結果は不十分だとしても目標をもってしているのが、保育の取り組み方は間違っていない。子ども達は一人一人違うので、あいさつや生活習慣、集団生活のルールについても、皆が目標に到達しないのではないかと。今後も、それぞれが自分らしさの中で習得していけるように、関わっていくと良い。</p>	A

<p>身近な自然や環境に親しみ、科学性の芽生えを育む</p>	<p>○季節の移り変わりや自然事象に興味や関心を持ち、身近な自然を遊びに取り入れて遊ぶ。</p> <p>○自然の中で見つけた生き物に関わる中で、親しみをもったり、命の大切さに気付いたりする。</p> <p>○野菜の栽培や収穫を体験し、様々な食材に興味や関心をもつ。</p>	<p>A</p>	<p>・0～5歳児の全学年が、季節によって変化する園庭の自然に関心をもって触れ、遊びに取り入れ、その美しさや不思議さへの驚きや気付きに保育教諭が共感することで、より興味が深まった。</p> <p>・ダンゴ虫やバッタ、ツバメ、ザリガニ等、様々な生き物を見付けたり、触れたり、飼育したりして、親しみ、命の大切さに気付くことができた。また、5歳児が中心となってウサギ当番を責任をもってしようとしている。</p> <p>・夏野菜や玉ねぎ、イチゴ、さつまいもを園庭で栽培、収穫し、また、地域の方の畑でジャガイモ植えや収穫をさせていただき、収穫したものを家庭や給食で味わい、食への興味につながった。</p>	<p>・園庭の自然が豊かである。子どもは遊びの天才であり、園児が自然環境に関わって遊んでいる事が分かる。様々な体験をしていってほしい。</p>	<p>A</p>
<p>ねばり強く、自らやろうとする意欲や態度を育む</p>	<p>○自分のしたいことを見付け、試したり工夫したりしながら遊ぶ。</p> <p>○くり返し挑戦し、できた喜びや達成感を味わう。</p> <p>○互いに教え合ったり、競い合ったりしながら、様々なことに挑戦しようとする。</p>	<p>A</p>	<p>・自分からしたい遊びを見付けて遊べるように環境を整えるよう努めたことで、じっくりと遊ぶ姿が増えた。園児が思いをもって遊んでいる様子を、写真を使って「わくわくニュース」として掲示し、保護者へ知らせた。</p> <p>・竹馬やバカポコ、こま回し等は、表やカードをつくることで目標をもち、友達と励まし合ったり競い合ったりしながら意欲的に取り組み、できた喜びや達成感を味わうことができた。</p>	<p>・「わくわくニュース」を見ると、子ども達が楽しく遊んで生活している姿がよく伝わる。自分らしく遊んでほしい。</p>	<p>A</p>
<p>人と関わる喜びを感じ、愛情や信頼感を育む</p>	<p>○友達や異年齢児と遊ぶ中で相手の思いを知り、その良さや違いを認め合う。</p> <p>○自分の良さを知り、自信をもつ。</p> <p>○人と関わる中で、「信頼」「愛情」「尊敬」「憧れ」「思いやり」など様々な感情を味わえるように、保育教諭が意識して関わっていく。</p>	<p>B</p>	<p>・コロナ禍で、異年齢児との交流の機会を積極的にもつことができなかったが、友達と遊ぶ中で互いの良さに気付くようになり、友達に認められる声も聞かれている。</p> <p>・園児の人権を大切にする保育について職員で考える機会をもち、園児が主体的に活動し自己信頼感をもてるように関わった。</p> <p>・コロナ禍で大勢の人に関わることはできなかったが、お世話になっている地域の方や来園者と関わりながら、親しみや感謝の気持ちをもつことができた。</p>	<p>・コロナ禍でできなかったことがあったのは仕方のないことだと思う。家庭でも祖父母との関わりが減っているのを、来年度は祖父母が行事へ参加できる機会をつくってはどうか。コロナ禍での交流や行事をする中で、やってみて良かったこともあるので、良い方向へ活かしてほしい。</p>	<p>B</p>
<p>自分の思いを表現する力を育む</p>	<p>○見たこと、聞いたこと、感じたことを自分なりに素直に表現する。</p> <p>○互いの思いを伝え合いながら、イメージを共有して遊ぶ。</p> <p>○人の話をしっかりと聞く態度を養う。</p> <p>○自分の考えを言葉で伝えたり、相手の思いを聞いたりする。</p>	<p>A</p>	<p>・園児が思いを素直に表現できるよう、園児の内面理解に努め、関わった。</p> <p>・人の話を聞く力についてはついてきているが、クラスタイムでは引き続き、集中できる時間配分や伝えたり話し合ったりする内容に配慮していきたい。</p> <p>・劇遊びでは、絵本を見たり、お話を聞いたりして、感じたこと考えたことを伝え、友達とイメージを共有しながら、身体で表現して遊ぶことを楽しむことができた。</p>	<p>・劇遊びをする様子を見て、子ども達が輝いていて伸び伸びと表現していることがよく分かった。子ども同士で話し合うことができるようになっており、一年生になってからも子ども園での経験が役立つしていく。</p>	<p>A</p>